

027
420
1



027-
420
1

十葉
印

愛知女子
第 11742 冊
書 圖

秋の霞下

5741
11

三三三

吳竹の竹たけまつ西宮さよるる春佛ふ
の寺あり寛文貞享のまつる位おきて
いやそうそ密巻よふ人こや侍るそを
能階つゝ名のゆゑある任口ひり世のる
あそかひるそや上人生涯の句と風雅つ
富嶺ふるとさ音く世の人口平 贈文
そ侍所ふれをまふ平 贅せぬとの
比浪速の梅お都るおたるそそかの

所ちとて立のりて昔和竹のわらわの
と海りけとてささりし上人のまゝに
か服やせたるも梅のむきこととみす
句を造りしとてあん又芭蕉翁貞喜の
ほめ大和の城の園の御のちとて
乙の閑窓を叩て我衣の伏水の
秋のちとていふも茶信のつゝ
かうくやあらうといとてわくく
ゆるいゝとて其角かのむらゝ

上人の相とて短冊二枚を清ゆる

あかりく刈をも新の花のむら

蓼の醋とも昔海をみるは

はとて名譽の人のむらとてむら
ちとて上人の徳のむらとてむら
余をりけ里とてむらとてむら
ちとてむらとて四月十三日百年の
祥忌のむらとて昔上人の徳の
おりて山を屋とてむらとてむら

いづれもはふちの非啼をれハ

かかれくろく原雀はふふは

とほすまゐのり筆路の今もかの里々
秘苑ののこる人あふせそまらまら
はく園へ侍るすまふすいくはの
星ををたげすまふすいくはの
知遇すまふすいくはの
は里の人こふと風流をもて同この海
そふ海を感へけりけりけり

懐古の情をけりけりけり
席をすまふ冥福乃風流をもて
遠く上人の風流の海を追ふまら

あ

天正四年甲辰孟夏

洛凡董謹書

西岸寺三世住口上人 貞享三丙寅の宵十三日寂
是歲天の四甲辰の既正當一百年也

懷旧之俳諧聯起

於伏水興行

かりに〜よ〜る雀は〜るに

其古も〜し 自ら魚橋 賀瑞

丁こし暮ち〜しひ〜る雪とて 几童

睡る童子う寝〜乃月 春坡

ある好の血あ〜れ〜る感々ん 松化

常〜る〜門の帘 買山

〜も始〜る旅乃人 湖陸

〜ん〜る〜る 其韻

〜る金の〜る〜る 楚尺

寒の〜る〜る 鹿卜

〜る〜る〜る 瑞

あ〜る〜る中川の象 董

光琳の彩色元一帯月
 秋のつらさ夢の海
 影をくわく影を覺首
 紀の園の情ははるかに
 移極の如く梅を老さ
 心もむすのめをわめ
 花はく般若よむある果のたぐ
 あやふ翁の心は

坡 陸 韻 化 心 尺 卜 瑞

くれまの皆あはれのとお捨て
 つもあふ志を忘のふあ
 志げの海く出串の光を
 風もはそそ粟の元ち
 兼は上脊たる井のほとけ
 あおりの心をとく
 黄昏下亡者をあはれ
 ともたふふ三日月の元

董 坡 陸 韻 瑞 心 尺 卜

あぢむの海越音くやあけ

化

麓の稼穡を又あひひこ

重

市あるくさあうよ雪の影

坡

自負一松の弱りある町

瑞

何あつげあやう海へのむら物

ト

やそらひきく曉のきり

陸

百身のかも春兼て花の度

成譽人

蛙もさうふ法のはひりる

執筆

遠列侯依味在松の
ちりううあまうい
けさうのありて
古わあうの喫茶の
なううしと

西岸寺

成譽

以瓶のちよひ返やあをまは

四月正當の日
あて上り人の
い
い
い

海越音くやあけ
よあれよ

葭原雀 子規

何れを言ふ事かを言ひて一言古雀英
ちよと此啼こころの壺にけり百俾

詠の二首 伏木の古くあはれ
詠の二首 伏木の古くあはれ

かろけりもあはれふもあはれり 柳女

燈や聲少く月なるや 賀瑞

伏木の沢田しげ田はる
人家のしげ田はる

あやうくしげ田はる 湖陸

あやうくしげ田はる 其韵

あやうくしげ田はる 楚尺

あやうくしげ田はる 鳥の女

雉の尻を月を松の在能 鹿卜

あやうくしげ田はる 梅洞

あやうくしげ田はる 賞心

月の中へあやうくしげ田はる 野村

西原のあやうくしげ田はる

あやうくしげ田はる 几董

おるるの高き下はきく 両谷
幾もゆきいもあはれきく 班霞
蜀綿ふのみやまねの影ほろ 夢里
ふ坂の鶯のおまやちかた 巴大

任口上人を記す二百

つ色の池あつやちとてゆき 夏
いふていふていふていふて 治昭
中より常やあやむ男山 落梅
の世あやねいふていふて 新室

かきく松ま白の月あや 流雲
百観のいふていふていふて 三
依るいふていふていふて 修福
たきくいふていふていふて 鳥有
名の竹あ新田もあやむ 野福
すいふていふていふていふて 嵐卦
かきくいふていふていふて 鬼心
あやいふていふていふていふて 舟堂
いふていふていふていふて 九龍

むう或人のまゝ分り
此を尋人もはるはる文書家
心のあつてもむひやうは

客人の法入るる奥
此れは人の子と口はゆる
げはるる春をむひかた

口はゆるるをむひかた 止行

河の中流にまゝて啼く鳥 鷺

若伏水之句に任座次混雜

其引 洛陽

蛇も人あつるまゝ 正巴

霧して一羽ふり 葭雀 春坡

いふまゝの子能く 伏るる 秘化

あつてはるのまゝ 伏るる 乃他女

むい法ののり 雀あけ 啼 朱松

二日あつてはる 雀あけ 乃他女

舟中

のちうう 嵐め 二のまゝ 几董

人買舟舟いそぎるもやうに 維弱
高水や葦の長きを御し 我則
帆のふて 葭ヨシ雀キリも鳴あはれぬ 湖島

芭蕉流のて

何ぞもはく 啼きぬるもや 万容
む火放り流す 隈や御し 自珍
葦おも 結る 舟のたれ 是若

二つうゝあまの 廣世の 杉を 狐心
あまの や 夜ふり かく 方は 魚赤

嵐の岡杜鰐

あまの 舟の 舵を 忘るゝ 兒童
かきまゝ 舟の 睡るを 夢に 熊三
舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 楚心
川舟の 船や 舟の 舟の 舟の 春香
舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 雷夫
舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 杉月

鳴るやうに思ふやうに鳴るやうに 葵史 在江戸

子紙あややひと夜の大指をさす 菱湖 田原

山や 志摩の如く 巴生 在京

糸舟の舟をうつし 谷水

さし掛まつるは 人の西まよりぬるをい 難波廿

わたり 帰るを 志摩の如く

船早より鳴るやうに 舟

さし 鳴るやうに 二日月 加菊

ちとよす 鳴るやうに 車谷 少寺

舟 渡 舟 丹波 舟 仙魯

あうや 舟 浪華 舟 竹裏

伏櫓の舟 伏水 舟 霞吹

舟 舟 舟 舟 舟 舟

川島や 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

五梅を斜りも啄りしかなりか柳水
担馬
 豊華尔の隈〜〜、百歩
 不〜片〜月〜筆つゝゑ、因心
 卯〜〜〜半月の巻を綴るを
 為〜〜〜あ〜〜〜む雀、朱厓
 能因〜〜あ〜〜〜は〜〜、雲裳
 う〜〜〜み〜〜〜〜、素良
 河〜〜〜標の元〜〜〜、交雨
 町〜〜〜蛙も鳴〜〜〜、黒人

其引

心遠を水の涯カキリや〜〜、田福池田
 夕切の水の縁を〜〜、竹外
 山を〜〜〜子規、星府
 子〜〜〜廿日〜〜〜、月溪雪水
 と〜〜〜〜、東尾伊丹
 ち〜〜〜馬の唄、佳棠
 市口〜〜〜、如夢
 新賣乃物〜〜、百池

物は海を飛ぶ矢ふく河を渡る毛條
ふりし鳴や昔方々茶の煙阿色
信ふまう我も此の山伏水子山伏水峰
けはの舟も飛下し 在鶺 祇帆

世心

中なりし海や隣の梅昔と菫堂
たふもは鳴や月流伏心古真
色言しやふとちち師し暮琴
竹むくく月も流る蜀魂 社米

其引

薙

河を渡る物やあふれぬ夜の色 士川
伽羅の香とちち鳴る杜鵑 守明
川を舟入舟時の師し 士為
ふりしや流るるむ犬の骨 士巧
おとこのあまをいひし 菊十
おとこのあまをいひし 菊十
まを葉の苗のまをいひし 李十
ふりしや昔方の舟や流し子 九蓮
ふりしや昔方の舟や流し子 帆 佳刻

をりしを岸よりやゆりし ヒメシ 馬中

よりゆくや水も流るる目もつら アカシ 作春

蜀をたへてゆく月の出入り 雲水 月居

伏水西宮子の隣家 宿 隈

よき世をゆく 中 二柳

やまのうらたけをゆく おとこ

筑のうらたけ 無言 几董

米屋のち 無言 道立

旅洛遅日亭興行

の上の口質 懐旧 几董

手 懐旧 百の敷

いせ竹の 懐旧 春坡

馬次の 懐旧 月居

新骨の 懐旧 我則

い 懐旧 坡

日 懐旧 董

宵立の息前の舟をいそぐ

則

昼工ヒルカキからりて 包ツミこ提ヒキをく

居

たゞしく侍本庄の遊女ありあや

菫

果ツミの腹ハらをく恋のそら言

坡

四五糸の梅の襟けおこぼ

居

あはれアハレの目メ宿ヤけあふ

則

斬キりくふあやうも是コノ月ツキのう

坡

飛トビて河カハをさくありアお鞠マド

菫

何ナニと何ナニを位イ割ワるゝあアの罪ツミ

則

旅ツツの靴ツツしはぬくちるチるル

居

どくはうドクハウもあアひ芝居者シバイモノ

菫

猫ネコやヤ響ヒビくクんン菴アンのノこコかカ智チ

坡

苗ネまマのりリしシおオのノあアをヲあアらラちチ

居

えエんンあアあアてテのノ禁酒キンシュやヤくクはハ

則

響ヒビのノ倍ヒもモあアらラちチるル

坡

横河ヨコガハのノ坊ボウへヘのノおオせセうウ

菫

風荒よふ東もさうくくめをさる
 八江りてい少丹ちつあつ
 ね立て城の雜穀を賣也
 玉の子よまいふ貝し風吹
 放生會けて三つこの舟の宿
 船をたてさめあつこのさつ
 三度ん此の二方島とる波
 むり一俣部をさしこの島
 則居 董坡 則居 董坡 則居 董坡

おくくく宗首弘海を許さく
 院をく縮りこのあく
 羽傘簾ちく小燈着あつこのあ
 孟志ち舟舳よりあし
 水あつ石と遊ばれ下鳥
 桑中む舟乃のゆめあふ
 則居 董坡 則居 董坡

任は上への處忌
春夜安んずるを
柳の枝をゆりて
花の香を懐かしの
筆をとる

一日を連ふらして
乃ち夜を終る
梅は夏百日
我則

いづれか
お志の
春夜

甲辰夏

善肆 橘仙

